



NEWS RELEASE

2014年10月20日
東ソー株式会社

【オルガノ株式会社】 土壌・地下水調査、浄化対策事業を強化

この度、オルガノ株式会社（当社出資比率 41.2%）は、当社と折半出資する環境テクノ株式会社とともに展開してきた土壌・地下水汚染の調査、浄化対策事業を同社に集約し、今後の市場拡大に対応できる体制を構築します。これによりオルガノは、超純水製造から排水処理、水熱有効利用にいたる水処理総合エンジニアリング事業を強化し、お客様の幅広いニーズにお応えするワンストップソリューションをこれまで以上に推進致します。東ソーグループは、今後も環境エンジニアリング事業に積極的に取り組んでまいります。詳細は添付をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先

オルガノ株式会社 経営企画部（TEL：03-5635-5111）

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>



Press Release

オルガノ株式会社
問合せ先

〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8
経営企画部 竹井 (TEL.03-5635-5111)

2014年10月20日

土壌・地下水調査、浄化対策事業を強化

オルガノ株式会社（以下、当社）は、これまでグループ会社である環境テクノ株式会社とともに展開してきた土壌・地下水汚染の調査、浄化対策事業を当社に集約し、今後の市場拡大に対応できる体制を構築します。これにより、超純水製造から排水処理、水熱有効利用にいたる水処理総合エンジニアリング事業を強化し、お客さまの幅広いニーズにお応えするワンストップソリューション（One Stop Solutions）をこれまで以上に推進いたします。

当社は国内における土壌・地下水調査、浄化対策事業の先駆けとして、1996年に当社の親会社である東ソー株式会社との合弁で、調査、浄化対策専門である環境テクノ株式会社を設立しました。環境テクノは土壌・地下水汚染調査事業では国内のトップクラスに成長し、また浄化対策事業では東ソーの重金属汚染対策技術や、当社の独自技術を利用した原位置浄化、海外から導入した油汚染除去装置などを駆使して、無機系・有機系・油系の汚染浄化で数多くの実績を積んでまいりました。

また、わが国における土壌・地下水調査、浄化対策事業は、現在の東京環状線整備工事をはじめとして、2020年の東京オリンピック開催、リニアモーターカー計画の実行等による土木市場の大幅な拡大とともに、今後再び大きな成長が見込まれています。

このたび当社に本事業を集約することで、今後増加が予想される案件に適切に対応するべく営業・技術体制を強化して更なる事業拡大を図ります。

なお環境テクノはこれまでに施工した浄化工事のモニタリング業務を中心に事業を継続してまいります。

現在、当社グループは「水処理事業分野におけるお客様のあらゆるニーズに対して、ワンストップソリューション（One Stop Solutions）が提供できる企業グループの実現」を目指し、事業ポートフォリオの転換をさらに加速させております。

土壌・地下水の調査から浄化対策まで、環境テクノで蓄積した知見と技術を合わせ、当社の事業として集約・強化することで、これまで以上に幅広くお客様の課題解決をサポートしてまいります。

以上

【土壌・地下水調査、浄化対策ご相談窓口】

オルガノ本社：プラント事業部基幹産業ビジネスユニット 土壌・地下水 G TEL:03-5635-5152

北海道支店：営業部	TEL:011-733-4132	【北海道地区担当：川崎】
東北支店：営業部	TEL:022-712-6971	【東北地区担当：高橋】
中部支店：営業部	TEL:052-939-0551	【中部地区担当：成山】
関西支店：営業部	TEL:06-6384-0771	【関西地区担当：岡】
四国営業所	TEL:0877-83-1285	【四国地区担当：小西】
中国支店：営業部	TEL:082-536-0055	【中国地区担当：中村】
九州支店：営業部	TEL:092-523-4132	【九州地区担当：奥住】

【参考】

1. 特定非営利活動法人地質情報整備活用機構 地盤環境技術研究センターの試算によると、東京オリンピック開催準備に伴う土壌汚染対策費用は1,845億円、調査費用は71億円規模と推定されています。
2. 当社グループが有している特徴ある土壌・地下水汚染対策技術は主に以下のとおりです。
 - (1) 重金属不溶化技術
原位置（汚染されている場所）で汚染土壌からの重金属の溶出防止技術です。
 - (2) 揮発性有機化合物（VOCs）原位置浄化技術
 - ① 酸化分解法（触媒酸化法、過硫酸法）：独自の触媒や酸化剤（過硫酸塩）等を用いて原位置でVOCsを分解、無害化する技術です。生物分解法に比べ工期を大きく短縮できるのが特徴です。
 - ② バイオ分解促進法：オリジナルの栄養剤を用いて、原位置に存在する微生物を活性化させ、VOCsを分解する手法です。
 - ③ 還元分解法：鉄粉や独自の還元剤を用いて、VOCsを還元分解、無害化する手法です。
 - ④ 揚水曝気法：汲み上げた汚染地下水中のVOCsを曝気装置（アクアストリーム、シャロートレイ）により除去する技術です。シャロートレイは、汚染物質が検出限界以下の水質となるまで浄化が可能です。
 - (3) 油汚染除去技術
海洋での油流出対策に用いられている、ベルト化した特殊樹脂を搭載した装置（ペトロエクストラクター）を用いて、地下水中の油を吸着除去する技術です。

ご注意

プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。